

# 校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamadai/>

## 「第1回 体育大会 For the victory～みんな輝け～」

校長 藤 至光

6月17日（木）と18日（金）の2日間で第1回体育大会を開催しました。2日間になった理由は、17日の突然の雨により競技を途中で切り上げたためです。仕切り直しをしたことで子どもたちの気持ちに水を差してしまったかなと心配しましたが、その心配もなく、2日目も一生懸命取り組む「カッコいい」姿で輝いてくれました。

私は開会式で、「今日は、皆さんに中学校生活の思い出となる何かをしっかりと自分の手で掴んでほしいと思っています。例えば、最後まで全力で頑張ったという誇りでもいい。自分の役割を最後までやり遂げたという満足感でもいい。全力を尽くしたけど負けてしまった悔しさでもいい。友達と心が通い合ったそんな一場面でもいい。心からクラスの仲間を応援したそんな熱い気持ちでもいい。何か一つ思い出に残せるものを、自分の手で掴もう。それは、君たちを成長させる糧となり、これからの学校生活を支える力や、人生を支える力になります。

そして、何かを掴むためには、一生懸命やること、協力すること、責任を果たすこと、この三つが大事です。

特に3年生、今年は全ての活動に中学校生活「最後の」という言葉がつきます。

二つの学校が一緒になって、新しい校歌を作った、新しい校章も作った。新しく生まれた学校をきちんと育ててくれている君たちが、第1回の体育大会をリードして思い出をつかんでくれることを期待しています。

それでは、体育大会実行員を中心に全校がまとまって、「みんなで輝く」体育大会になることを願って開会のあいさつとします。」という話をしました。

さて、今年度の体育大会は、このコロナ禍において、全校生徒が一堂に会して創った初めての学校行事でした。そこには、3年生が3年生らしく下級生の手本



となって係の仕事に対する責任感、競技に熱中する前向きな態度、そしてお互いを称え合う温かさ等、下級生が目指す3年生の姿を見せてくれました。また、競技種目である大縄へのチャレンジでは、割り当てられた朝練習や昼休み練習には、いの一番にグラウンドに集合して、声を掛け合い、工夫して取り組む姿に下級生も大きな刺激を受けていました。まさに「努力は足し算、協力は掛け算」をそのまま実行する3年生の取組でした。3年5組が打ち立てた3分間合計152回（そのうち、連続記録49回）の今大会のレコードは、来年度更新すべき大きな目標となりました。この3年生にしっかりついていった1,2年生も立派でした。2年生は、1年生を気にかけてながら、3年生の姿を追って今できる自分たちの役割をしっかり果たしていました。一人ひとりがこの経験を今後の学校生活につなげて、3年生からのバトンをしっかり受け継ぐことができるように成長して欲しいと思います。4か月後の文化祭では、さらに成長した姿を見られることを楽しみにしています。

最後に、閉会式後に本部の片づけをしていると、学活が終わった1年生男子生徒3名が、「何か手伝うことはありませんか？」とやってきました。「そこにあるカラーコーンを片付けよう。」とお願いしました。カラーコーンにはそれぞれ6色の色画用紙が張られていました。「どうすればいいですか？」と一人の生徒が聞いてきたので、私は、「どのように片付ければいいのかと思う？」と聞き返すと、丁寧に色画用紙を外して、折り畳んでくれました。そして、オレンジのコーンを複数個重ねて倉庫に運んでくれました。その際にも、3年生の学年写真の撮影を邪魔しないよう、校舎沿いを通して倉庫まで運んでくれました。

1年生のこの行動にとっても嬉しく、そして頼もしさを感じました。考えてみれば、ちょっと前まで6年生として小学校を引っ張っていたわけですから、体育大会が終わったら片付けがあることを想像してこのような行動がとれることも頷けます。

学校教育には、各教科における学習と、学級活動や行事等の特別活動における学習があります。日々の教科授業での学びも大切ですが、行事を通じて仲間や先輩たちとの関わりから学ぶこともとても大切だということを改めて感じることができる2日間でした。

そして、スローガンどおり、丸中生みんなで輝く体育大会でした。

最後になりますが、体育大会実行委員の皆さん、君たちの頑張りがこの体育大会を支えてくれました。本当にありがとうございました。

